

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013-2014年度 国際ロータリー会長 ロンD. パートン



2013-2014年度 会長 鷺塚貞長 幹事 服部 滋 クラブ会報委員長 佐藤公俊
創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30
例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551
TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2013 October 30

■ 2013~2014年度方針

“原点に戻り 品格あるアドバンス”

Return to basics Advance with intelligence

NO.16

例会報告

- 第2012回例会 平成25年10月30日(水) 晴
- 10月は職業奉仕月間・米山月間
- ロータリーソング 四つのテストのうた

●出席報告 会員 104 名中 出席69名
(98)

出席率70.41%

●ゲスト紹介

- ・ゲストスピーカー
東京大学 安藤直人特任教授
- ・黒田史郎君ゲスト 高田朋太郎氏

●ニコボックス

「安藤先生、本日の卓話楽しみにしています。」

服部 滋幹事、横井辰幸君
本多國泰君、伊藤勝康君

「宮下さんのサクセスストーリー興味深く拝読しました。今年で御年七十八歳、年令は七掛けの時代ですから、五十代半ばです。“まだまだ”お若いのです。今後一層のご清祥祈念致します。」

鷺塚貞長会長

「宮下さん、ご労著「一步」有難うございました。青春時代のご苦労ご努力に感銘しました。」

長谷川通雄君

「入会予定の高田さんです。宜しくお願いします。」

黒田史郎君

「昨日胃及び大腸ポリープを各2個ずつ摘出手術を日帰りで行いました。父姉とも癌で亡くし小生にも因子が有り過去10年毎年10月に主治医の勧めで受けています。簡単で無痛です。」武藤 博君

本日のニコボックス	6件	22,000円
累 計	105件	708,000円

服部 滋幹事報告

▽当クラブ行事予定

- ・10月30日(水) 本日例会終了後、理事会を開催致します。
- ・11月2日(土) 12:30~
ワールドフード+ふれ愛フェスタのため 久屋大通公園 テレビ塔北側 ロータリー交流ブース

- (11月6日の例会はございません)
- ・11月13日(水) 18:00~
もみじ例会 八事 八勝館
(お昼の例会はございません)
- ・11月24日(日) 12:30~
地区大会全員登録のため
ウェスティンナゴヤキャッスル
(11月20日の例会はございません)
- ・11月27日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリーを開催致します。クラブアッセンブリー終了後、理事会を開催致します。

▽地区大会時間変更のお知らせ

以前ご案内させていただきました地区大会本会議開会が12時45分になっておりましたが、12時30分に変更となりましたのでよろしくお願い致します。

鷺塚貞長会長挨拶

“地下水水位の低下と減反”

日本の国土の大半は山です。山または山の連続の中の、僅かな平地に人々は暮しています。愛知県の元設楽郡に、四谷千枚田があり、その水源は、後方の、わずか600mほどの鞍掛山で、中腹よりは、毎秒約20リットルの、豊かな天然ミネラル・ウォーターが、湧き出しています。

鞍掛山は連山でもなく、何の変哲も無い、ごくありふれた山で、富士山の様な大山で無い、こんな小山で、豊富な地下水が湧き出るので。

同じような山は全国には無数に有るでしょう。ただし、豊富な湧き水を産出する山に、共通しているのは、広葉樹林に覆われていることです。広葉樹の保水力がいかに強力であるかの証です。

さて地下水です。

民法第207条では、所有する土地の地下の水の、自由なくみ上げを認めています。

水を大量に使用する工場、病院、ホテルなどは、世界一高い水道代の節約の為、こぞって井戸を掘り、自給を始めました。

また、日本の水は、良質で、安全で、美味しいので、毒水大国中国や、慢性的水不足の中東諸国に、商品として、ペットボトルで輸出される量も膨大になってきました。

福島原発には、毎日500～1000トンもの地下水が流れ込み、汚染水となって海に流出するなど、我が国では地下水などは無尽蔵と、高をくっていましたが、最近になり、各所で井戸などの水位の低下が問題になり、ひどい井戸では、4～5mも水位が低下しています。

日本では国産米の価格を、高値安定させるため、40%もの減反政策が取られていますが、減反しながら外米を、年間270トンも輸入し、その関税は700%です。

日本では年間平均、1700ミリほどの降雨量があり、それが地下水の源ですが、降った雨が、土中にしみこんでこそ地下水で、地表を流れて海に至れば、地下水の供給にはなりません。

水田では、稲作期間を約100日とすると、1ヘクタール当たり2万トンの水が、地下にしみこみます。

40%の減反では、約50万ヘクタールの水田が消失しますので、年間100億トンの雨水が、地下水にならず、海に流出するのです。

地下水の水位が下がる大きな原因は、減反による、水田の消失だったのです。

T P Pでは、関税のことばかりが取りざたされており、水田が果たす、地下水の供給という、涵養性に関しては、何ら議論の対象にはなっていません。

するなどの治水効果のみではなく、炭酸ガスを吸って酸素を作り出し、材木として長期使用すれば炭素の固定化が実現され、地球温暖化抑制対策として有効である。

2010年の公共建築物木材利用推進法成立以降、インテリアとしての木材利用も進んでおり、子供の生育環境に大きな影響を生み出すことが期待されている。

会員の横井氏がリーダーとなっている「あいけん」の社会貢献活動や、海外での交流スライド（トリノ工科大学、ベネチア海軍造船所など）を紹介し、一般の方が木に直に触れる機会を増加させる活動の様子を説明した。さらに、建築以外にも、最新のJR九州の「ななつ星」列車のインテリア、古くは堀江謙一氏のヨット「マーメイド」が合板製であること、中日新聞ロビー展示の「T型フォードトラック」等多様な場面で木材が利用されてきたことを示し、温故知新も含めいよいよ「木材利用・木質構造時代の幕開け」がやってきたことを示した。

- 第4回理事会(平成25年10月30日(水) 例会終了後 ウェスティンナゴヤキャッスル)
 - ・年末会員家族懇親会の件
 - ・坪井和義君出席免除の件
 - ・その他

●11月度誕生日祝福

会 員

ご 夫 人

柏木順壺 君(11月1日)	須賀邦一郎 夫人(11月5日)
南 喜幸 君(11月2日)	吉田正道 夫人(11月6日)
黒田武志 君(11月5日)	石川雅迪 夫人(11月8日)
中浜明光 君(11月5日)	林 邦司 夫人(11月17日)
野田俊幸 君(11月9日)	本多國泰 夫人(11月21日)
佐藤公俊 君(11月10日)	近藤東臣 夫人(11月28日)
上村晋也 君(11月11日)	野田俊幸 夫人(11月28日)
長谷川通雄 君(11月15日)	
柏木博喜 君(11月19日)	
内藤博文 君(11月19日)	
内間三好 君(11月21日)	
川畑 元 君(11月26日)	
町田重夫 君(11月27日)	
鷲塚貞長 君(11月27日)	



例会	月日	今後の予定
第2014回	11.13	もみじ例会 18:00～ 八事八勝館 (お昼の例会はございません)
第2015回	11.24 (日)	地区大会全員登録のため ウェスティンナゴヤキャッスル 12:30～ (11/20(水) 例会変更)

○このウイクリーは再生紙を使用しております。

卓 話

異次元に向かう木材利用

東京大学 特任教授 安藤直人



今年に入って木材利用(木づかい)がマスコミに取り上げられ、大変忙しい毎日を送っています。電通が木材利用に目を付け、様々なイベントを仕掛け、三井物産も同様にオフィスに木を使うことを推進するイベントを企画している。大手新聞もこぞって「木づかい」のキャンペーン広告を打つ時代になって

いる。

日本の国土の7割は森林です。従来保水など森林保護ばかり叫ばれてきましたが、今は木を伐って大量に消費することをしなければならない時代を迎えている。第二次大戦後のはげ山に大量に植林した杉や桧、カラ松といった建築用材が山に一杯になっており、今伐りだして新しい苗木を植林しないと50年後に使う木が育ってこない。木を育てる循環を成立させる仕組み作りを今やらないと後世に憂いを残すことになるのが最大の課題となっている。木造建築は、従来の在来工法に加え、エンジニアリングウッドの使用も含め、単なる木構造から木質構造へバージョンアップしている。従来弱点と見られていた耐震性、省エネ性、耐久性、耐火性も、様々な工夫により次々に克服されてきている。さらに、よく知られるように森は雨水を保水し、川の流れを制御